

電子黒板利用ガイド

User Guide for Interactive Whiteboard



電子黒板でできること

- 電子黒板とは、プロジェクタとパソコンを組合せることで、プロジェクタ用スクリーンにもなり、タブレットの役割も果たすホワイトボードです。
- 専用のデバイスドライバがインストールされたパソコンと接続すると、ボード型電子黒板としてホワイトボードがタブレットのように使えます。マウスを使わなくても、ホワイトボード上を指先でタッチすれば、パソコン上のアプリケーションを操作できます。
- 付属のペンやイレイサー（黒板消し）を使って直接書き込みをしたり、書き込みを消したりすることができます。さらに、書き込みをした画面は、専用ソフトウェアをインストールしたパソコンへ Word, Excel, PowerPoint, PDFやイメージファイルとして保存することもできます。

電子黒板を使うために必要なもの

- パソコン（ノートパソコンなど）
- ケーブル類（RGBケーブル、USBケーブル）
- リモコン（プロジェクタ用）



電源用の延長コード
もあります。

環境・情報科学館の2階にある「STAFFカウンター」の向かい側のブックトラックに、ケーブル類を用意しています。スマートボード用のラベルのついた緑色の各BOXに1セット分のケーブル類が入っています。
※HDMI端子のみのノートパソコンをお持ちの方には、変換ケーブルを貸出できます。詳しくは、STAFFカウンターにお問合せください。

事前準備（ソフトウェアのインストール）

接続するパソコンに、SMART NotebookおよびSMART製品ドライバを事前にインストールしておいてください。下記のURLからダウンロードできます。

<http://www.sakawa.net/ebd/notebook/download>

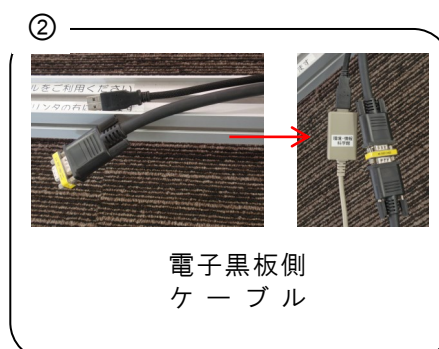
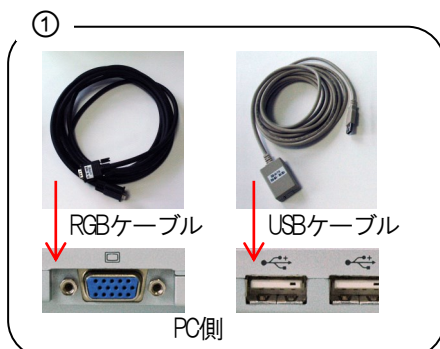
- SMART Notebookはホワイトボードを電子黒板（スマートボード）として使う時に使用する専用ソフトウェアです。不要な場合には、製品のドライバのみをインストールすることもできます。
- インストール後に、パソコンと電子黒板をUSBケーブルで接続することでライセンス認証が行われます。初回の接続で認証が完了すると「30日間の使用制限」が解除されます。

機器の接続



機器の接続 1

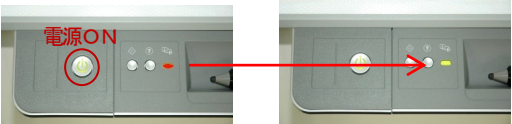
- ①パソコンに、RGBケーブルとUSBケーブルを接続します。
- ②電子黒板に、RGBケーブルとUSBケーブルを接続します。
- ③リモコンでプロジェクタの電源を入れます。ランプが赤から青に変わります。



機器の接続2

- ④パソコンの電源を入れ、立ち上がるまでしばらく待ちます。
- ⑤次に、電子黒板の電源を入れます。

⑤

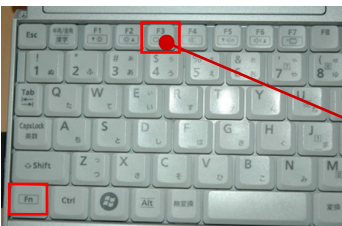




電子黒板にパソコンが接続されるとランプが赤から緑に変わります。
※緑のランプが点滅している状態では、パソコンが正しく認識されていません。


➢ ホワイトボードをプロジェクタ用のスクリーンとして使用する場合は、①②でRGBケーブルのみ接続し、⑤の電子黒板の電源は入れずに使います。

プロジェクタにパソコンの画面が投影されない場合

パソコンで画面の切り替えをします。




通常、パソコン上に  や  などの画面を表示するキーがあります。この例ではF3です。




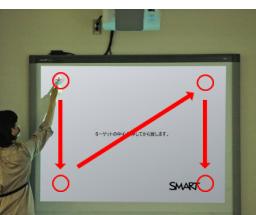

Fnを押しながらF3を押します。

画面の表示方法が「パソコンのみ表示」「プロジェクタに表示」「パソコンとプロジェクタ両方に表示」などに切替わります。

電子黒板とパソコンの位置情報を一致させます

電子黒板の電源の横にあるボタンを押します（下左図  印）

スクリーンにポイント  が表示したら、付属のペンでポイントの中心部分を「左上→左下→右上→右下」（右図）の順にタッチしてください。



SMART Notebook

手書き文字認識のテキスト変換や多彩なペンなどがある専用ソフトです。



<http://www.sakawa.net/ebd/notebook/features> (SMART Notebookで出来ること)
<http://www.sakawa.net/ebd/support/> (SMART Notebookユーザーズガイド)

終了手順

パソコンの電源を切り、プロジェクタの電源（切のボタンを2回押す）、電子黒板の電源も切ります。接続ケーブル類を外します。
電源ランプが右図の状態になったら、終了の手順は完了です。

操作方法などが分からない場合には、下記のSTAFFカウンターにお問合せください。

GuidePoint ①～⑤の手順は前後しても機器の動作に支障ありません。

GuidePoint キーの位置、操作はお使いのPCによって異なります。

GuidePoint 位置が誤って認識された場合は、ボタンを押し、再度位置を合わせてください。

GuidePoint 終了時の電源ランプの状態

プロジェクタの電源：赤



電子黒板の電源：消灯

